

むらやま 議会だより



写真／大高根柔道スポーツ少年団練習にて

もくじ

- ◎新春対談…………… P 2～3
- ◎新議会体制…………… P 4
- ◎12月定例会・11月臨時会…………… P 5～6
- ◎議会活動レポート…………… P 6～7
- ◎代表質問・一般質問…………… P 8～13
- ◎市民の声…………… P 14



←携帯からはコチラ



村山産業高生対談



左から 細矢副議長、菅睦子先生、須藤虎太郎さん（楯岡）、齋藤優大さん（西郷）
菊池音夢さん（大高根）、越前花梨さん（戸沢）、高橋議長

明けましておめでとうござ
います。議長公室において、
村山産業高生4人を迎えて、
正・副議長との新春対談を行
いました。

（副議長） 今日、皆さんと
お会いできることを楽しみに
していました。最初に皆さん
が勉強していることを教えて
ください。

（越前） 農業経営科で6次産
業に対応する技術などの専門
的なことを学んでいます。酒
造会社と連携して酒米を使用
した日本酒の製造・販売をし
ています。

（齋藤） 最新の技術を使った
森林管理やキノコの栽培など
を学んでいます。森林業に携
わっていきたいと思っています
ので、とてもいい勉強になり
ます。

（須藤） 機械科、商業科、情
報科もあります。金属ででき
たコマを回して遊ぶ機械科の
「コマ対戦」というイベント
もあります。商業科では、市
内の飲食店と新商品をコラボ
して「巾着おどん」というメ
ニューを開発しました。

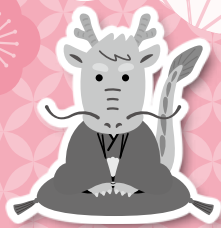


（菊池） 草花や野菜について
学習するコースを選択し、花
を育てて地域の人に販売して
います。フラワー検定という
美容師やブライダル関係に進
みたい人に有利な検定を取得
できたりもします。

（副議長） 齋藤さんは林業に
興味があるんですね。
（齋藤） 林業に興味を持った
きっかけは、村山市のふるさ
と教育の森で植樹をしてから
です。

（議長） 学校には素晴らしい
加工室もありますよね。自分
で作ったものを販売するのは
どんな感じですか。
（菊池） 地域の人に食べても
らって、おいしいと言って笑
顔になってもらえることがと
てもうれいんです。

2024 新春



(議長) いろんな資格にチャレンジできるし、勉強したいことがはっきりとあっていろんな経験ができる学校なんですね。皆さんが3年間で一番楽しかったことは、どんな授業や活動でしたか。

(齋藤) 課題研究で木材加工を通じて子どもたちに林業や森林について知ってもらえたのが思い出に残っています。

(須藤) 牛舎の堆肥を置く場所をカラフルにしたり、イ



メージキャラクターを壁に描いたりするのが楽しく、できた時の達成感がすごくあります。

(菊池) レジンというものを使ってアクセサリやキーホルダーを作ったことです。

(越前) 牛の餌となる飼料が高騰しているので、飼料用のトウモロコシを栽培して牛に与えています。あと、課題研究で酒粕を使った飼料を牛に食べてさせて発表のためにまとめています。

(副議長) 酒粕を家畜に与えて酔わないですか。

(越前) 飼料の一部ですから大丈夫です。酒粕は、学校で作った米で酒造会社にお酒を造ってもらった時のものです。

(議長) 高度なことに取り組



まれていますよね。循環するためには地域で出てくる残渣さんざみたいなものをどう活用していくかといった研究ですね。皆さんそれぞれすばらしい課題研究で聞いていてワクワクします。

(議長) 皆さんのこれからの夢や進路、または村山市の課題などを聞かせてください。

(越前) 市内に就職して、自分が育った村山市で活躍していきたいです。

(須藤) 村産で学んだことを生かして就職できる企業が村山市には少ないのが課題だと思います。

(議長) そういった企業があれば、住んでもいいのにといいことですね。

(菅先生) 実際に、地元で働

こうという子どもたちが非常に多いです。そういう若者こそ、これからの村山市を支えてくれると思います。

(菊池) 大高根は、交通の便も悪く、高齢者にとっても若い人にとっても不便だと思います。

(齋藤) 大学を卒業したら、村山市で林業経営を行いたいです。

(議長) 公共交通不足や企業誘致といった課題には、私たちも一層取り組んでいかなければならないと考えています。一方で、村山市で活躍したいという気持ちが出てくるともうれしく思います。若い皆さんの夢や希望がかなえられるように私たち議会も応援して参ります。



新議会体制が決まりました



議会の構成

議長			副議長		
高橋菜穂子			細矢 清隆		
委員会	総務文教 常任委員会	産業厚生 常任委員会	議会運営 委員会	広報広聴 委員会	活性化 委員会
委員長	矢萩 浩次	吉田 創	大山 正弘	細矢 清隆	柴崎 亮太
副委員長	柴崎 亮太	阿部 正任	石澤 祐一	高橋 卯任	吉田 創
委員	高橋菜穂子	細矢 清隆	矢萩 浩次	中里 芳之	議長を除く 全議員
	大山 正弘	秋葉 新一	高橋 卯任	田中 正信	
	田中 正信	中里 芳之	吉田 創	阿部 正任	
	高橋 卯任	石澤 祐一	柴崎 亮太	瀧田 順子	
	森 直也	瀧田 順子		森 直也	
	松倉 慶子			松倉 慶子	

一部事務組合議会議員

■共立衛生処理組合

議運委員長 矢萩 浩次
議 員 中里 芳之
議 員 高橋 卯任

■北村山公立病院組合

副 議 長 高橋菜穂子
議運委員長 吉田 創
議 員 細矢 清隆
議 員 秋葉 新一

■北村山広域行政事務組合

議 長 大山 正弘
議 運 委 柴崎 亮太
議 員 松倉 慶子

■広域斎場事務組合

議 員 石澤 祐一
議 員 阿部 正任
議 員 森 直也

一般会計補正予算

12月
定例会

2億9,353万円を追加し、 総額178億4,356万円

令和5年第6回定例会は、11月29日から12月15日までの会期で開催され、条例8件、補正予算4件とその他3件を可決し、1件の議案の撤回がありました。

補正予算の主なポイント

I 子育て支援・教育環境の整備

4712万円

- ① 子育て応援定住促進事業補助金
- ② 子育て支援医療給付事業・ひとり親家庭等医療給付事業
- ③ 中学校冷房設備整備事業

II 住みよいまちづくり

1233万円

- ① 親水広場整備事業負担金
- ② 道路新設改良事業

III 農業の振興

4238万円

- ① 機構集積協力金
- ② 水田畑地化促進事業交付金

IV 低所得世帯物価高騰対策給付金

1億4784万円

住民税非課税世帯に7万円を支給。確認書発送、返送されたものから随時支給されます。

条例

◎村山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員及び再任用職員の給料月額及び期末・勤勉手当について、山形県人事委員会の勧告等を参考に改正を行うものです。

◎村山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

会計年度任用職員について、国の非常勤職員の取扱との均衡及び適正な処遇の確保の観点から、勤勉手当の支給を可能とする改正を行います。

11月 臨時会

一般会計予算総額

6億8,082万円を追加し、175億5,003万円

令和5年第5回臨時会は、11月1日から2日まで開催されました。

人事案件

選挙管理委員

委員長 松田 裕 (戸沢)
 委員 大場ひろみ (楯岡)
 委員 里村 学 (楯岡)
 委員 板垣 嗣則 (西郷)
 任期：令和5年11月8日から
 令和9年11月7日まで

教育委員会委員

川崎 千尋 (袖崎)
 任期：令和5年11月6日から
 令和9年11月5日まで

補正予算のポイント

寄附金見込み額を4億円増の20億円とし、返礼品等の経費を増額

歳入(主なもの)

ふるさとづくり応援寄附金 4億円
ふるさとづくり基金繰入金

1億9981万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 365万円
普通交付税・前年度繰越金 7736万円

歳出(主なもの)

ふるさとづくり基金積立金 4億7370万円
ふるさとづくり応援寄附金推進事業 1億9981万円
農業水利施設電気料金高騰支援事業費補助金 730万円

○議案第82号について

・反対討論 中里芳之議員

物価高騰や社会保障の後退で、市民の暮らしは厳しさが増すばかりだ。政治がまともな対策を講じないままでは、市長・議員の給与・報酬引き上げに市民の理解は得られない。自民党の裏金づくりで政治への信頼は地に落ちた。労働者の賃金の改善を求める請願をつぶしながら、自らの報酬は引き上げるなどは、いかがなものか。

○請願第3号について

・賛成討論 中里芳之議員

実質賃金の落ち込みは異常。政治の責任で賃上げすべき。日本商工会議所では引き上げ賛成は42・4%と増加。最低賃金引き上げのための中小企業支援の抜本的拡充も必要。全国一律と最低賃金の大幅引き上げは、若者流出を止め労働者の生活を守り、消費拡大による地域経済の立て直し、中小企業の経営安定にもつながる。

・反対討論 柴崎亮太議員

最低賃金については2023年10月から全国加重平均額が1000円を超えるなど、政府の取り組みについて一定の効果が出ていると評価する。

しかし、急激な最低賃金の引き上げは、中小企業の事業継続・雇用維持をより困難にする予想する。

経済成長・制度改善が必要であり、最低賃金を速やかに1500円に引き上げることにについては時期尚早であると考える。

審議結果報告

(12月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ掲載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ													改革クラブ	無党派	賛成	反対			
			松倉慶子	森直也	瀧田順子	柴崎亮太	吉田創	田中正信	矢萩浩次	石澤祐一	大山正弘	秋葉新一	細矢清隆	高橋菜穂子	高橋卯任	阿部正任	中里芳之					
市長提出議案 第82号 村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13	1
市長提出議案 第84号 令和5年度村山市一般会計補正予算(第6号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13	1
請願 第3号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願		否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	3	11

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決 □=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長 裁=裁決

総務文教常任委員会 管内視察

●12月11日

小中学校通学路の危険か所について左記の3か所の視察を行いました。

1. (市道中楯線) 楯岡小学校の児童の通学路
2. (市道楯岡名取線) 楯岡中学校、西郷地域の生徒の通学路であるアンダーパス部
3. (市道湯野沢線) 富本小学校付近の市道

1については運転者に対しての注意喚起を行うためグリーンベルトの整備を実施中です。
2については交通安全指導員を配置することで対応することでした。

3については通学路には指定されてはならず、歩行者も少ないとのことでしたが、小学校が近いので、今後の対応については協議が必要です。



楯岡楯通学路



小中学校の統合により自転車やバスなど通学手段も多様化しているため、市内通学路について児童・生徒の安全を確保するためにも抜本的な対策が必要です。



●12月19日

●新北村山公立病院整備基本構想について

新公立病院の目指すべき将来像は、地域住民のニーズに的確に応え、医療の空白を生じさせない、患者や医療従事者にとって魅力ある病院です。

北村山地域の入院患者数は令和12年まで緩やかに減少し、その後減少のペースが大きくなると見込まれるため、病床数は233床とし、現在の19の診療科に総合診療科を新設するとしています。

2500件弱の救急患者を受入れ、「24時間断らない」病院として存在意義の高い病院であり、リハビリテーションにおいても県内で唯一温泉を利用した水中運動治療も行っています。

現時点での新病院建設概算事業費（建設費・医療機器・医療情報システムのみ）として159億7500万円と試算しています。建設工事がスムーズに進捗した場合、令和12年度の開院が可能になります。



北村山公立病院入口

議会活動

■10月

- 2日 議会だより編集委員会
- 6日 北村山広域行政事務組合議会定例会
- 26日 全員協議会
- 31日 全国市議会議長会
「2040未来ビジョン出前セミナー」

■11月

- 1日 全員協議会・本会議
- 2日 全員協議会・本会議
- 7日 県市議会議長会定期総会（～8日）
- 14～16日

初当選議員に対する所管事務説明

- 17日 総務文教常任委員会協議会
産業厚生常任委員会協議会
共立衛生処理組合議会定例会
- 20日 全員協議会・会派代表者会議
- 22日 議会運営委員会
- 24日 県知事・県議長との意見交換会
広報広聴委員会
- 29日 全員協議会・本会議・予算特別委員会

■12月

- 1日 代表質問
- 4～6日
一般質問
- 8日 予算特別委員会・活性化委員会
- 11日 常任委員会・総務文教常任委員会管内視察
- 14日 常任委員長会・議会運営委員会
- 15日 全員協議会・予算特別委員会・本会議
- 19日 産業厚生常任委員会研修会
北村山公立病院研修会
市建設業協会との意見交換会
- 20日 北村山公立病院組合議会運営委員会
- 21日 北村山広域行政事務組合議会運営委員会
- 25日 広報広聴委員会
- 26日 北村山公立病院組合議会定例会
- 27日 北村山広域行政事務組合議会臨時会



北村山公立病院内

建設業界の現状は、建設投資額が回復傾向にあり労働環境も向上したものの、公道除雪や災害への対応など建設業界の事業も多様化しており、さまざまな課題を抱えています。

また昨年度より導入された市内除雪の3ブロック体制で、苦情や要望の受け先が統括され、対応が早くなり苦情はかなり減ったとのことでした。

しかし、除雪のオペレーターも含め建設業界全般の人手不足、若者のなり手不足が懸念されています。令和6年度から建設業にも時間外労働の上限規制が適用され、週休二日制の導入を求められています。資材・燃料費の高騰などの課題を抱える中、工期日程の平準化、提出書類の簡素化や電子化の取り組みが要望されました。

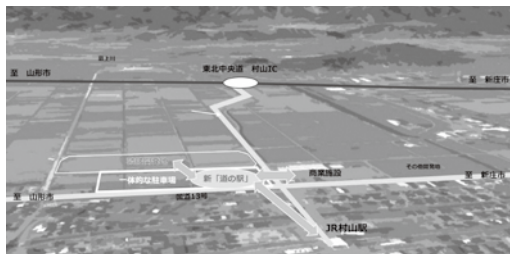


除雪についても話題になった

代表質問

市政・公明クラブ代表 矢萩 浩次 議員

動画は「いいね」



基本計画案が公開された新・道の駅むらやま

Q まちづくりの全体ビジョンが見えないとの意見がある。将来像・全体像を思い描いたまちづくり、都市計画について伺う。

A 全体ビジョンを持つことは必要である。総合計画・マスタープランなどで定期的に見直し、都市計画区域を中心に進め好影響を全体に波及させていく。

Q 駅西開発、新・道の駅むらやまの基本計画案の方向性と方針を伺う。

A 東北中央道開通後、国道13号の通行車両が減少している。立ち寄るだけの道の駅から目的をもって行く、行きたいと思える道の駅を目指す。

Q 村山JICから駅周辺でJRをバスし真つすぐ東沢公園へアクセスすることで、東沢への誘客や楯岡まちなかへのアプローチとなり活性化にもつながるものと思われるが。

A 構想は良いと思うが、費用対効果など研究し検討する。

Q 河西地域のまちづくりを支えるためにも、国道13号から347号への河東と河西を結びつなぐ幹線道路を整備し、村山市の一体的なまちづくりを図るべきではないか。

A 河西地域におけるまちづくり基本方針を策定し、「子育て教育強化」「居住環境形成」などのエリアに整理し進めている。

Q 今年の防災訓練はより実践に近い実りある訓練であった。今後は水防訓練も必要と思われるが、本市の

防災力の強化、安心安全なまちづくりについて伺う。

A 被災したとしても、人命を最重要視し減災に備える。自助・共助・公助の取り組みが重要であり、官民一体の災害体制づくりが防災力の強化、安心安全なまちづくりにつながる。

Q 貯蔵や冷房等に利用する「利雪」、雪を楽しむ「親雪」に取組み、雪害を「克雪」へと切り替えることは、移住定住しやすいまちづくりにつながるのではないか。



自衛隊他防災関係者が参加し実施された市の防災訓練

A 安全で快適な住環境を確保するため、きめ細やかな除雪や消雪道路の長寿命化を図る。雪の冷熱を活用する雪室は、農産物の貯蔵への利用拡大が期待される。雪室米のブランドを確立させたい。

Q 産業の活性化と就業や福祉の充実も相まったむらやまの魅力に惹かれ、「移り住みたい」「住み続けたい」まちづくりが重要ではないか。

A Uターン促進策として「奨学金返還支援」や移住定住策としての「お試し居住」、妊娠前から子育て支援まで切れ目ない継続した支援など、庁内各課横断的に展開している。

Q 猛暑による農作物被害の原因を見極め、今後の対応策を講じることが必要。本市の産業の核である農業、雇用の創出や工業用地の確保、企業誘致について伺う。

A 猛暑対策は国・県の動向も踏まえ支

援を検討する。令和10年完成を目指し湯野沢地区内に工業団地造成に着手し新たな企業誘致に取り組む。

Q 喫緊の最重要課題である人口減少問題に対するこれまでの政策をどう評価・検証するか。また課題と今後の人口減少対策を伺う。

A これまで展開してきた施策により一定の効果が出ていると考える。子育て支援の充実など必要な施策・取り組みを今後も継続し、次期総合計画を策定する。

議会の傍聴へお気軽においでください。

◎インターネット中継も配信中 詳しくは、
<https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/gikai/index.html>
村山市議会→議会中継
(ライブ中継・録画中継、外部リンクより)



↑携帯からはコチラ



田中 正信

高齢者にやさしいまちづくりについて

答弁 最重要課題であり、一層前向きに取り組む

動画はこちら



Q 高齢者にやさしいまちづくりに向け、本市の基本的な考えと対策について伺う。

A これまで高齢者にやさしいまちづくりに向け、さまざまなきめ細かい施策を実行してきた。特に「自助・共助・公助の精神」のもと、今後市民とともに一丸となり取り組む。

Q 認知症による行方不明者の発見に向け、どのような取り組みをしているか。

A 徘徊の恐れのある高齢者の住所を市が登録し、警察署などと情報を共有し捜索に役立てている。令和4年度は17人の登録があり、このうち2人の保護につなげた。

Q ※フレイルは75歳以上に多いといわれる。食べる量が減る。

と足腰の筋力が落ち、家に閉じこもりがちになる。そのような悪循環を防ぐための取り組みについて伺う。

A 気軽に出来る認知症予防体操のDVDを制作し、いきいきサロンなどを中心に予防活動に努めている。

Q 仕事と介護が両立するための「介護休業制度」について、啓発活動が必要でないか。

A 介護のために離職することのないよう、企業とともに啓発活動に取り組む。



いきいきサロンの様子

※フレイル：病気ではないが、加齢とともに筋力や心身の活力が低下すること。健康と要介護の間の虚弱な状態のこと。



吉田 創

村山産業高等学校との連携をさらに

答弁 情報交換を行いながら連携していく

動画はこちら



Q 市内唯一の高校、山形県立村山産業高等学校（以下、村産）とさらに連携を進める必要があると考えるが、現在の連携について伺う。

A 令和6年度より、村産が県外から生徒受入を開始。市では県外募集のために「地域みらい留学」への参加経費や学校紹介パンフレットの印刷経費などを支援している。また今年度、村産をふるさと納税の返礼品認定事業者として登録した生徒が生産・加工した製品を返礼品とすることが可能となった。そして1月から村山市公式ライン「ふるさとむらやま」で、村産の生徒が作成した村山市のPR動画を掲載し情報発信を行っていく。村産と連携することで、

市として大きなメリットがある。県立高校ではあるが、市内唯一の高校であることから、引き続きできる範囲で支援を継続し情報交換を行いながら連携していく。

Q 産業界では人材不足が課題である。企業の人手不足感の高

まりを背景に求人数は増加傾向である。そのようなことから村産生採用のために市独自の企業就職説明会はできないか。

A 高校生に対する説明会は現在も行ってはいるが、もっと力を入れていく。



村産生徒が作成した動画



阿部 正任

市防災訓練の在り方について

答弁 体験を通して

実りのある訓練を行う

動画はこちら



Q 今年度より防災対策課も新設され、

昨年度から2回目の市の主催となる防災訓練だった。企画・統制に市役所内の多くの関係各課がかかり、地元住民・消防団とともに他の防災関係機関と連携・協力し多様な訓練が行われた。参加地区住民の評価や感想はどうだったか。

A 訓練後、地区民にアンケート調査を行ったが、概ね「有意義な訓練ができた」「防災の意識が高まった」の声寄せられた。「来年以降も市内を一巡する形で市防災訓練が開催されると思われる。戸沢地域には災害の際、住人の無事を玄関に示し近所住民に知らせる「無事ですタオル」作戦がある。また老人福祉施設など



10/29 戸沢地域における市防災訓練

がある地域では、移動困難者福祉車両を使って自宅から避難することになっている。市内どこでも画一的な訓練ではなく、各地域の特色・取り組みを生かした訓練計画を策定していただきたい。

A 地域との打合せで取り入れられるものは取り入れたい。

Q 災害の規模が大きいわが公助は遅れる。自主防災会・消防団を重視した実践的な市防災訓練を望む。

A 自助・共助の力を強めていく。

その他の質問
・(冬の)通学路の危険か所について



森 直也

第9期介護保険事業計画について

答弁 第8期計画を継承し、

充実させる

動画はこちら



Q 次期介護保険事業計画と市の介護福祉の現状はどうなっているか。

A 村山市の老人人口は令和2年度をピークに減少して、その後も減少傾向にある。市の人口に対する比率は高くなるが、高齢者の人口は減少している。第8期計画はほぼ計画通りに推移しており目標を達成している。基本的には第9期計画は第8期計画を継承し、さらなる充実を図るものである。

Q 老人人口の割合に對して介護の担い手が不足している。また、介護事業所の経営

が厳しい状況に置かれているが、介護サービス事業所の現状はどうなっているか。

A 他市町村より人口に対してサービス事業所が多く、市民にとっては選択肢が多くなる。反面、事業所にとっては競争相手が多いことになる。

基金は介護保険事業の安定的な運営のために積み立てており、令和5年度末には3億9000万円になる予定である。

また、市民が安心して村山市で過ごせるような安定したサービス提供を維持し、安心安全な介護保険事業を運営できるように、第9期計画書にも盛り込んでいく。



老人ホームでの食事風景



松倉 慶子

保育施設のライブカメラ導入について

答弁 様子を見ながら

勉強・検討する

動画はこちら



Q 村山市内の保育施設の安心安全について伺う。家庭と保育施設のやり取りはお便り帳だけで、保育の様子が見えない。入園して間もない子どもは園で過ごしたことをうまく伝えられない。親が安心して子どもを預けて働けるように保育の様子が見えるライブカメラを設置してはどうか。遠く離れている祖父母も様子を見ることのできる。現在の状況と今後の考えを伺う。

A 市内には10の施設があるがどこにも設置していない。親・祖父母が安心できるようにメリットもあるが、デメリットとして不正利用やプライバシーの問題もある。全員の同意を得なければならぬなどの問題もある。すでに活用している他

市の様子を見ながら勉強していきたい。

Q 保育施設所有の通園バスの安全装置の設置について、設置状況を伺う。昨年、通園バスで置き去り事件による死亡事故があった。市内保育施設のバスの現状はどうか。

A 市内保育施設には3台のバスがある。こういう事故が起こると安全対策を施し、しばらくは安全に過ごせるが、また繰り返す。常日頃から緊張感を持った注意が必要。



市内認定こども園バス



高橋 卯任

恒久平和の実現について

答弁 平和が大事と考える人を

育てていく

動画はこちら



Q 最近の世界情勢は、先人たちが築いてきた平和を脅かし、私たちの暮らしにも不安を与え始めている。改めて平和の大切さを伝える行動が必要と考える。県内で最初に平和都市宣言をした本市の恒久平和実現に向けての考えを伺う。

A 具体的な取り組みとして、毎年8月15日に戦没者追悼式を開催している。また市報を通して、同月6・9・15日それぞれの日に、市民の皆様に黙とうを呼びかけている。また、常日頃から平和について考えることを日常に埋め込んでいくような教育が、子どもでも大人でも必要と考えている。平和のためには何かしているかではなく、勉強や経験によって平和が大事だと

考える人を育てる。その取り組みの積み重ねが大切だと考えている。平和への意識の希薄化を防ぐために、戦争当時の資料の展示や体験談を聞く講座などを開催すべきと考えるがどうか。

A 必要な取り組みであるが、多くの民



平和都市宣言を祈念して建てられた標柱

その他の質問
・市民センターの利用について



瀧田 順子

東沢バラ公園の発展・リニューアルについて

答弁 ますます磨きをかけていく

動画はこちら



Q 今年の秋バラのライトアップは素晴らしいものだった。しかしコロナの影響を受け有料入場者数が激減した。旅行形態の変化だけでなく、バラの見せ方・交流館の利便性のある使い方をどう考えるのか。

A 魅力ある公園作りが必要。香りなどのカテゴリー別やストリー性のあるバラの植栽を検討する。公園内の池に噴水を設置し、バラ交流館の利用方法も再考する。

Q 春夏秋のイベントとしてコンテンツなど、誘客出来るイベントを作れないのか。

A 公園の通年イベントの必要性は痛感している。大好評を得た秋のバラまつりライトアップを、春のバラ



東沢バラ公園

まつりなど、期間以外での実施を考える。通年イベントについては類似公園などを参考に勉強する。

Q バラ公園内に期間限定の「幻のそば街道」を作れないか。

A バラ公園は市内経済の起爆剤と考えている。そしてバラ公園の観賞後に、市内の店舗へ足を運んでいたことを狙いとしている。提案については今後勉強していく。



大山 正弘

将来の農業をどう考えるか

答弁 安定した農業経営と

若い担い手を支える

動画はこちら



Q 米の等級や価格の下落により農業経営はどうなっているか。また収入保険の加入状況と対象農家は。

A 保険加入状況は令和5年度60件、令和6年度は今募集しているが10月末で57件。加入要件は、青色申告を行う農業者で、市内青色申告者は165人と法人。青色申告者の約35%が加入している。今後、加入メリットの宣伝を行っていく。

Q 農業の経営状況と今後の課題について市長に伺う。

A 新規就農者が増加している。若手の方々に安定した農業経営を学んでいただくなど、技術指導や若手育成に向けて邁進する。

Q 人口・世帯数の推移と自治会の現状は。



さくらんぼ収穫の様子

A 1年で平均495人、43世帯が減少しているが、自治会は市内8地域135地区で、ここ5年間で増減はない。

Q コロナ禍から4年、まち協や自治会の伝統行事の開催状況は

A 市内8地域の伝統行事は休止や廃止が多い。理由は担い手の高齢化や若者の不在による後継者不足。この状況に本市全体も危機感を抱いている。



中里 芳之

西口ホテルと直接契約して 大丈夫か

答弁 財務状況はわからない

動画はこちら



Q マツキとの土地賃借契約を解除し、西口ホテルと新たに契約を結ぶ理由は。

A マツキとホテルの訴訟における裁判所の和解勧告による。

Q 和解勧告が第一の理由であつてはならない。市民の大切な財産を貸して市民にとってマイナスにならないかが問題。最悪の場合、市の玄関口に廃墟が放置される可能性もある。マツキからの送客という大前提がなくなつた中で、ホテルと直接契約して大丈夫か。ホテルの経営状況・財務状況、市税などの滞納状況は。

A 財務状況はわからない。会社の内容については答弁を差し控える。

Q マツキが法人として西口ホテルに出

資していないのに、市

は「マツキが出資している」と虚偽答弁し、

「マツキがついているから大丈夫」と思い込ませた。議会に謝罪するべきだ。

A 思い込ませるなど人を欺くことは言っていない。虚偽答弁かは議員の判断に任

せる。

Q 子どもの立場で考えれば、小中一貫教育（義務教育学校）では、小・中学生お互いにストレスがたまるのではないか。（小学生だけでなく）中学生の意見も聞くべきだ。今後検討したい。

A 子どもの立場で考えれば、小中一貫教育（義務教育学校）では、小・中学生お互いにストレスがたまるのではないか。（小学生だけでなく）中学生の意見も聞くべきだ。今後検討したい。



市有地に建つ村山西口ホテル



柴崎 亮太

戸建て子育て支援住宅団地を 検討してはどうか

答弁 お金がかかるため、現状は無理としか言えない

動画はこちら



Q 本市の空き家の推移について何う。

A 令和5年3月末現在で住宅の空き家は430件、平成26年度末298件、31年度末347件、令和4年度末425件であり空き家は年々増加傾向にある。

Q 子育て応援・定住促進事業補助金の交付状況について何う。

A 過去の交付状況は令和2年度42件、3年度59件、4年度51件である。今年度については11月末現在で54件であり、毎年加算額を増額していることもあることから大変好評をいただいている。

Q 人口・子どもが減少しているのに、世帯・住宅数は横ばいであることから見ると、将来の空き家発生を招く施策とも見て取れる

A 人口・子どもが減少しているのに、世帯・住宅数は横ばいであることから見ると、将来の空き家発生を招く施策とも見て取れる

が市長の考えは。

A この事業については定住促進・人口減少対策でやっている。結果的には空き家は増えていくと考えるが、増えて欲しくないと思っている。

Q 住宅のサイクルがそもそも違うのではないかと考える。子育て世帯向けの戸建て市営住宅団地を検討してはどうか。

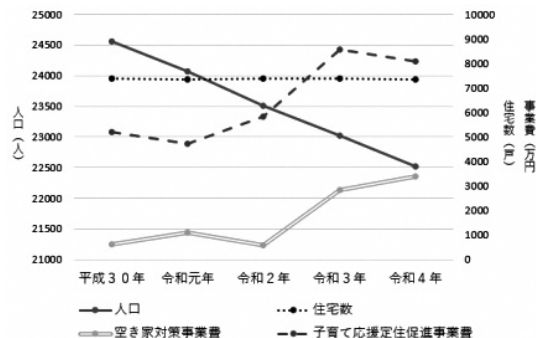
A 住宅のサイクルがそもそも違うのではないかと考える。子育て世帯向けの戸建て市営住宅団地を検討してはどうか。

A お金がかかるので現状では無理としか言えない。

Q 小中学校統合による通学の問題や公園の整備など多くの課題がある中、いかにして市民の要望に応えていくのか。次世代に負担を残さないための住宅施策を行ってほしい。

A お金がかかるので現状では無理としか言えない。

その他の質問
・防災対策について



村山市の推移（直近5年間）

市民の声

～「おいしい!!」の声に励まされ～

白鳥でブルーベリーを栽培しています。8年前に自宅近くの耕作されていない畑を借り受け、1年かけて約30aを整備することから始めました。ブルーベリーを本格的に栽培している農家は数少なく、試行錯誤しながら現在に至っています。

昨年6月には、農林課の方や観光物産協会のご協力もあり、戸沢小の3年生を招待し開園式を行うことができました。また、7月には学校給食への提供や保育園児の収穫体験も行い好評をいただきました。子どもたちの元気な声が飛び交う畑は微笑ましい光景です。「おいしー」の一言が今後の農園作りに活力を与えてくれます。

集落では子どもの声を聞くことはほぼありません。農業においても高齢化が進み畑は荒廃していく一方です。議員の方々には、農業の高齢化や少子化など多様な問題解決に向け、市民の代表として村山市発展のために奔走していただきたいと思えます。



大沼 清孝 さん
(戸沢)



子どもが走りまわって遊べる園内



昨年の開園式



入園者の半分は小学生以下

〈表紙写真〉

大高根柔道スポーツ少年団は週2回（火曜日・金曜日）西郷地域市民センターを会場に練習しています。体力づくりや技の習得だけでなく、礼儀作法も重んじています。高校生や社会人の先輩方も指導、練習相手に訪れてくれます。絆の強いチームです。

大高根柔道スポーツ少年団

代表指導員：板垣聡嗣 団員：11名 練習日：毎週火曜日・金曜日
練習会場：西郷地域市民センター 連絡先：080-5563-1052 (阿部)



「黙想！」精神統一

あとがき

令和6年能登半島地震により、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

新たに、広報広聴委員会が設置されました。議会だよりの編集・発行や多様な媒体を利用した情報提供を行う広報活動と、市民の意見を広く聴く広聴活動を一体的に取り組むことを目的としています。市民の皆様への関心が一層高まるよう努めて参ります。

広報広聴委員会



- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 細矢 清隆 |
| 副委員長 | 高橋 卯任 |
| 委員 | 中里 芳之 |
| | 田中 正信 |
| | 阿部 正任 |
| | 瀧田 順子 |
| | 森 直也 |
| | 松倉 慶子 |